

日本語



级能力考试

对策与模拟试题

读解·语法部分

(第二版)

主 编/顾盘明

副主编/王奕红 藪野仓子



华东理工大学出版社

EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

日本語

1 級能力考试

对策与模拟试题

读解·语法部分

(第二版)

主 编/顾盘明

副主编/王奕红 藪野仓子



华东理工大学出版社

EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

日本語1级能力考试对策与模拟试题 读解·语法部分 / 顾盘明主编. —2版. —上海: 华东理工大学出版社, 2005. 1

ISBN 7-5628-1634-4

I. 日... II. 顾... III. 日语-语法-水平考试-自学参考资料 IV. H360.42

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 139407 号

日本語1级能力考试对策与模拟试题 读解·语法部分 (第二版)

主 编 顾盘明

副主编 王奕红 荻野仓子

出版	华东理工大学出版社	开本	787×960 1/16
社址	上海市梅陇路 130 号	印张	13.5
邮编	200237	字数	284 千字
电话	(021)64250306	版次	2001 年 9 月第 1 版
网址	www.hdlgpress.com.cn	版次	2005 年 1 月第 2 版
发行	新华书店上海发行所	印次	2005 年 1 月第 1 次
印刷	上海崇明裕安印刷厂	印数	10631-18680 册

ISBN 7-5628-1634-4/H·439

定价: 18.00 元

前言

《日语1级能力考试对策与模拟试题(读解·语法部分)》是参照日语1级能力考试水准编撰而成,分为读解与语法两部分。

读解部分共分为辅导篇、练习篇、综合篇、模拟篇等四大部分。**辅导篇**,主要就文章大意、要点和主题的归纳方法、指示词和接续词的应用知识等方面的内容,通过实际文章进行示范分析。这些内容都是阅读理解的基础,也是读解项目中最主要的出题范围。本篇将给你启示理解问题和思考问题的方法及窍门。**练习篇**,主要就“说明、理解、指示词、接续词、原因及理由”等五方面的内容进行分门别类的练习,每道题都附有简要的提示,告诉你解题的范围与思路。**综合篇**,是将上述五方面内容汇集在一起进行综合练习,**综合篇**和**模拟篇**中的题型、难易度均与实际应试内容相仿。

本书读解的文章及试题均择取于若干本日本最新出版的《日语1级能力考试读解试题集》的辅导材料以及日本升学考试用最新版本的读解试题集,并根据近年来日语1级能力考试读解试题逐年趋难的倾向,笔者遵循由浅入深、由简到繁、由单一到综合、循序渐进的原则,加以去粗存精、编辑整理。书后附有每道题的答案,可供学习者参考。

学习者通过本书设计编辑的一系列试题,将会发现自身在日语读解方面的优点和不足,进而通过本书的循序练习,可以从中得到诸多启示,掌握较丰富的语学知识,活跃解题思路,整理出分析、理解题意的办法。读者大可借助本书,在日语1级能力考试中做出更好的成绩来。

语法部分主要由句型说明与练习两部分组成,前者围绕1级能力考试中文法、读解等部分核心的语法现象,选取百余个富有代表性的句型,就其意义、接续等内容分别加以简明扼要的说明,并辅以丰富的例句,以便于学习者更好地把握语法内容。例句皆配有汉译文。练习分为综合分类练习和1级语法句型练习两个部分。综合分类练习将一些功能相似或联系较为紧密的语法现象归类出题,同中有异,便于学习者考察各语法现象在接续、意义、语感等方面的特点,从而更为准确地理解和运用。1级语法句型练习主要围绕1级重点语法现象出题,通过练习,学习者既可加深对句型条目的理解,也可对自身的掌握情况做出检验。两部分练习均附有答案。

本书对于正在提高日语语法、读解能力、准备参加日语1级能力考试的在读学生、切望提高日语能力水平,有志于留学日本的广大日语学习者、活跃在教学第一线的广大日语教师,无疑均有一定的参考价值。

由于时间仓促,个人水平有限,错误和疏漏之处在所难免,敬请同行和读者予以斧正。

编者

目录

Part I 读解部分

怎样做好日文读解	1
第一篇 辅导篇	3
一、大意、要点和主题(大意·要旨·主题)的归纳方法	3
二、指示词	8
三、接续词	11
第二篇 练习篇	15
一、说明	15
二、理解	22
三、指示词	57
四、接续词	62
五、理由	65
第三篇 综合篇	72
一、综合练习 1	72
二、综合练习 2	94
三、综合练习 3	106
第四篇 模拟篇	117
第五篇 回答篇	127

Part II 语法部分

第一篇 句型说明篇	131
第二篇 练习篇	169
一、分类练习	169
二、1级语法综合习题集	181
三、习题集参考答案	195
第三篇 日语句型表达分类条目	197
一、助词功能类	197
二、助动词功能类	203

Part I

读解部分

怎样做好日文读解

所谓读解,顾名思义就是阅读和理解。它是综合考察应试者语言能力的项目,旨在测试应试者的阅读速度和对文章的理解能力,即考察应试者在规定时间内对一定篇幅的文章中出现的词汇意义、句型结构、文章脉络的理解程度以及逻辑思维能力。对应试者的要求是多方面的,因而,读解是能力考试中难度最大的部分。

怎样做好日文的读解?首先应试者必须具有扎实的日语语言基础,平时应有意识地加强阅读速度方面的训练,多做一些读解练习,逐步掌握答题的要领;并熟练掌握诸如词汇、语法等方面的语学知识;运用词法分析和句法分析的方法,提高对文章中的某一个词语和句子理解的正确率。下面简要谈谈怎样通过试前练习提高文章阅读理解的能力。

读解试题的题型,大致可分为以下6类:1 说明;2 理解;3 指示关系;4 接续关系;5 原因、理由;6 综合。具体地说,1~5类的内容分别是:

第1类:对文章中缺省部分或未明确交代的部分进行说明;

第2类:思考文章所体现的作者的主张、写作意图,或根据文章内容进行相关的推理;

第3类:回答某指示词所指代的具体内容;

第4类:根据前后内容,选择合适的接续词;

第5类:思考作者所持主张的理由或出场人物某一行为的原因。

第1~5类问题,原则上是基于对某个段落或短文的理解,而第6类有关综合性的问题则是针对篇幅较长的段落或整篇文章而言的。

在练习解答读解问题时,也许会遇到许多不懂的词汇或表述。这些都不要紧,因为解答问题并不需要弄清所有单词、短句的意义。要发挥自己的想像力,而不要单纯依赖于词典。即使在自己觉得答题十分困难或知道答错题时,也无需在词典上找到所有单词。这时,应该思考一下,哪些单词对于解答问题、阅读文章是特别重要的。然后从弄懂自己认为重要的单词开始,再一步步地进行解答。要记住,在实际的考试中,是不允许使

用词典的。

其次,对自己出错的原因加以分析也非常关键。答错题的原因是多种多样的,是没有弄懂单词的意思呢,还是对整篇文章内容的理解方法有误?这时,应该思考一下出错的原因何在,并据此加强对自己薄弱环节的练习。

对于解答 1~5 类问题感到特别困难的人,应养成在阅读各种文章时自己设问,边读边加以解答的习惯。例如,若觉得在解答第 3 类问题困惑较多时,就应在阅读过程中有意识地思考指示词其所指示的具体内容,以达到练习的效果。

此外,在日常学习中还应注意涉猎各种类型的文章,且多读多练。久而久之,你的阅读速度和理解能力必然会大有提高。

第一篇 辅导篇

一、大意、要点和主题(大意・要旨・主题)的归纳方法

1 怎样领会文章的主题(要点)

何谓主题?即文章的中心思想,也就是作者所要叙述的主要内容。文章作者为了把某一件事即主题说清楚往往要进行巧妙的构思、举例、说明,这样一来就会把文章写得长而复杂。于是,读者在一篇文章中正确领会主题,即弄清作者所要叙说的中心思想,往往会感到十分困难,或者说不一定能抓得准。究其原因,大多是因为读者对文章的结构、文章中的举例和说明等没有真正理解,加上中日两国民族思维方式、语言表达习惯之不同,在领会主题时常会出现许多困惑。因此,我们在考虑主题之前,首先必须按照日本人的思维方式和表达习惯充分理解文章的结构、作者所列举的例子和种种说明。让我们来分析一下下面这篇文章的主题。

【例文一】

青い時間

本の面白さ、というのには、二つの面があると思う。

一つは、本が現実から離れて、頭や心を、別の世界に連れて行ってくれる、という面白さ。もう一つは、その別の世界で体験したことが、自分に役に立つ、ということ。この二つだ。例えば、心理学の本は、僕の思春期に、この二つの面を教えてくれた。僕は、土盛りだったし、なかなか、友達とうまく付き合うことが、できなかった。特に異性の前に出ると、ほとんど口を聞くことも出来ない。すてきな人だなあ、と思っただけで、どもってはいけない、と思うと、一言もしゃべれなくなってしまうりする。家族の者とも、心が全く通わないような気がする。

そんな時期に、僕は、一冊の心理学の本を手にした。アメリカのウィリアム・ジェイムズの古典的な「心理学」である。初めは難しい、理屈だけの本かと思ったら、そうではない。僕自身にも、覚えのあるような、生きた体験が沢山出てくる。しかも、その一つ一つが、今まで、僕の知らなかった見方で、見られている。

僕は、父の学問の影響で、人間の社会の動き、政治や経済のあり方に、法則を見出そ

うとする学問のあることは、既に知っていた。しかし、人間の心の動きを、その一人一人の生の営みの微妙さに即しながら、なおそこに、筋道を立てて考え酔うとする方法のあることを知ったのは、僕にとって大きな驚きであった。

その本を読んでいる間、僕は不愉快な気持ちを忘れた。すべての、優れた本というものには、いつも、この作用がある。特に、優れた文学ならよけいに、そのさよすがはつきりしている。

読み始めると、ぐんぐんと、本の中の世界に引き込まれてしまい、自分の生きている日常のことを、一瞬忘れる。本を読むのが、面白いという人は、このぐんぐんと引き込まれていく楽しさを知っている人である。反対に、この楽しさが分からないうちは、本を読むのが、おっくうなほうがあたりまえだ。

ぱらぱらと、ページをめくってみるが、つい、ほかのことに心がいつてしまう。

腹が減っては、ラーメンを食おうか、とか、あのスウェーターを買おうか、どうしようか、とか…。そして、途中で本を放り出してしまう。

だが、ほんの楽しさは、決してこれで尽きるのではない。本の中の世界で、楽しみながら生きて、現実の世界に帰ってくると、いつのまにか、何かが変わっている。自分が変わっている。物事を見る目が変わっている。

僕は「心理学」を何度も読み返したあとで、自分の心が、なんとなく、すつきりしはじめているのに、気が付いた。

今までは、いやだ、いやだと思っていた自分を、もう少し突き放して見ることができるようになり、心が晴れてきた。汗だらけの体が、シャワーを浴びて爽快なように、もやもやしていた心が、本のお陰で、きれいに洗われた。自分の欠点が、はっきりと見えてきた。どうやって、それにいどんだらいいか、落ち着いて考えられるようになった。

(「青春をほくのポケットに」より)

分析

本文主要叙说了两件事：即「本の面白さ」和「本の楽しさ」。作者在「本の面白さ」上，写了两个方面的内容。一是“本が現実から離れて、頭や心を、別の世界に連れて行ってくれる”；二是“しかも、その別の世界で体験したことが、自分に役に立つ”。

但是，仅仅这样写太抽象，究竟笔者要说些什么事，读者看了会觉得不伦不类，不会很明白。于是，笔者又列举了自己的体会。请注意文章第四行中的“例えば”。

作者写道：主人公因口吃在青春期不能与朋友很好地交往（「友達とうまく付き合い合うことが、できなかった。」），尤其在异性面前几乎说不出话来，甚至连跟最亲密的家人也不能沟通（「家族の者とも、心が全く通わないような気が」した）。在那一时期，在恐怖症的孤独的心态下，他有幸读到了一本ウィリアム・ジェイムズ撰写的《心理学》，从而「ぐんぐんと、本の中の世界に引き込まれてしまい、自分の生きている日常のことを、一瞬忘れる。」这就是「本の面白さ」的第一个条件。

「本の面白さ」的第二个条件是“今までは、いやだ、いやだと思っていた自分”を、客

観的に「突き放して見ることができ、」心が晴れてきた。」并且说,现在对“自分の欠点”也已经能冷静地思考了。

最后,本文可作如下归纳:

本の面白さの二つの面 { 別世界に連れて行ってくれる
自分に関立つ

思春期に読んだ心理学の本 { 本の中の世界に引き込まれた
自分が変わった

这样一分析,整篇文章的主题即文章的中心实际上就是开头所写的内容,即:

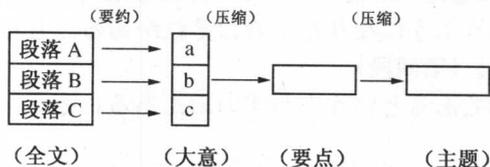
本は、頭や心を別世界に運んでくれ、別世界での体験が現実世界に役立つので、面白い。

简言之,即「本は面白い。」

2 怎样领会文章的大意和要点(大意と要旨)

大意即文章或段落的大概意思,它与文章的要点大相径庭。只不过前者归纳的内容长一些、展开得详细一些,后者归纳的内容更精练一些,简明扼要一些罢了。一般地说文章的结论部分大多为文章的要点。

因此,简言之,大意、要点和主题三者之间在意思上无根本差别:文章或段落的大概的内容即大意,将大意压缩得更短一些即要点(要旨),将要点(要旨)压缩得更精练、更简明一些即主题。三者之间的关系可用下图表示:



让我们来归纳一下下面这篇文章的大意、要点和主题。

【例文二】

案内者

どこかへ旅行がしてみたくなる。しかし、別にどこという決まった当てがない。そういうときに旅行案内記の類をあけて見ると、或いは海浜、或いは山間の湖水、あるいは温泉といったように、行くべきところが様々ありすぎるほどある。そこでまずかりに温泉なら温泉と決めて、温泉の部を少し詳しく見ていくと、各温泉の水質や効能、周

囲の景勝名所旧跡などの大体がざっと分かる。しかし、もう少し詳しく具体的の事が知りたくなくて、今度は温泉専門の案内書を探し出して読んでみる。そうすると、まずぼんやりとおおよその見当がついてくるが、いくら詳細な案内記を丁寧に読んでみたところで、結局本当のところは自分でいって見なければ分かるはずはない。もしもそれがわかるようならば、うちで書物だけ読んでいればわざわざ出かける必要はないと言ってもいい。次には念のためにいろいろの人の話を聞いてみても人によってかなり言うことが違って、だれのオーソリティを信じていいかわからなくなってしまう。それで散々に調べた最後には、つまりいいかげんに、賽でも投げると同じような偶然な機縁によって目的の地をどうにか決めるほかはない。(第一段)

こういうやり方はいわばアカデミックなオーソドックスなやり方であるといわれる。これは多くの人々にとって最も安全な方法であって、こうすればめったに大きな失望やとんでもない違算を生ずる心配が無い。そうして主要な名称旧跡をうっかり見落とす気遣いもない。(第二段)

しかしこれと違ったやり方もないではない。例えば旅行がしたくなると同時に最初から賽を振っていくところを決めてしまう。或いは偶然に読んだ詩篇か小説かの中である感興に打たれたような場所に決めてしまう。そうして案内記などにはてんでかまわないで飛び出していく。そうして自分の足と目で自由に気の向くままに歩き回り見てみる。この方法はとかくいろいろな失策や困難を引き起こしやすい。またいわゆる名称旧跡などのすぐ前をとおりながら知らずに見逃してしまったりするのはありがちなことである。これは危険の多いヘテロドックスなやり方である。これはうっかり一般の人に進めることのできかねるやり方である。(第三段)

しかし前の安全な方法にも短所はある。読んだ案内書や聞いた人の話が、いつまでも頭の中に巣を食っていて、それが自分の目を隠し耳をおおう。それがためにせっかくわざわざ出かけて来た自分自身は言わば行李の中にも押し込められたような形になり、結局案内記や話した人が湯に入ったり見物したり行樂したりすると同じようなことになる。こういうふうになりたがるおそれがある。もちろんこれは案内書や教えた人の罪ではない。(第四段)

しかしそれでも結構であるという人がずいぶんある。そういう人はもちろんそれでよい。(第五段)

しかしそれでは、わざわざ出てきたかいたがないと考える人もある。曲りなりにでも自分の目で見て自分の足で踏んで、その見る景色、踏む大地と自分とが直接にぴったり触れ合うときにのみ感じえられる鋭い感覚を味わわなければなんにもならないという人がある。こういう人はとかく案内書や人の話無視し、或いはわざと避けたがる。便利と安全を買うために自分を売ることを恐れるからである。こういう変わり者はどうかすると万人の見るものを見落としがちであるかわりに、いかなる案内記にも書いてないいいものを掘り出す機会がある。(第六段)

(「寺田寅彦全集」第三巻により)

分析

这篇文章由六个段落组成。各段落的内容可分别归纳如下：

- 第一段 「どこかへ旅行したくなって、案内記を詳しく調べたり人の話聞いたりした後、偶然な機縁によって目的地をどうにか決める。」
- 第二段 「このやり方はアカデミックなオーゾックスなやり方で、多くの人々にとって最も安全な方法である。」
- 第三段 「しかし、これと違って最初に目的地を決めてしまい、自分の足と目で自由に気の向くままに歩き回るやり方がある。」
- 第四段 「しかし、前の方法にも短所がある。それは案内記や人の話にしばられてしまって、自由に見たり聞いたりできなくなることである。」
- 第五段 「それでもいいという人は、もちろんそれでよい。」
- 第六段 「しかし、自分の目や自分の足で(未知な)大地を確かめたいという人は、どうかすると万人の見るものを見落としがちであるかわりにいかなる案内記にも書いてないいいものを掘り出す機会がある。」

将第一段到第六段的大意连起来便是整篇文章的大意(为便于说明,将其视作大意1)。然后再将其简缩,便成了大意2或要点1:

事前にできる限り調べた後、旅行するというやり方は、最も安全であるが、調べたものに束縛されて、自由に見聞する余裕を失う恐れがある。それに対し、事前調査なしにいきなり旅行するやり方は、万人の見るものを見落とすという危険がある反面、自由にもものを見て、誰も見なかったいいものを見出すという利点を持つ。

再将上述内容简缩便成了要点2或全文的主题:

记き旅行に行く際、事前調査していく方法と、調査せずに行く方法があるが、どちらも一長一短がある。

由此可见,运用上述方法,可将一篇文章随意简缩成任何长度的大意或主题。日语读解文要求简缩成要点或主题的数字,通常在200字、50字或30字左右。

【练习一】

次の文章を読んで後の問に答えよ。

同じ山をかくにしても、人が違えば同じ絵にはならない。一人一人の個性差は山の絵だけでなく、ほかのものを書くときにも見とめられる。それが完成された画家の場合なら、画風と呼ばれるものである。画風は一朝一夕にできるものではないが、一旦

出来上がってしまうと、変えようとしても、なかなか変えられない。

文章を書く場合にも、これに似た個性がある。署名が無くても筆者の見当のつくこともあれば、未知の人の書いた文章から、書いた人の人柄などが想像できることも少なくない。それは、文章が書く人の個性と深く結びついているからであって、「文は人なり」(ビュフォン)という有名な言葉もある。この個性は、書くときだけでなく、読むときにも働いている。読むときには、比較的はつきりした形をとらないだけである。ビュフォンの警句のもとのことばは、「スタイルは人なり」であるが、スタイルを文とか文体とか訳してしまうと、書くときだけの個性の問題に限られてしまう。ところが、読むときにも、個性の差が重要な作用を及ぼしているのだから、読者にもスタイルを認めてよいように思われる。全くスタイルなしに、物を読むことはできない。読者においても「スタイルは人なり」である。

書くのに比べて、読むのは、一般に、受身の活動のように考えられているが、必ずしもそうとは言い切れない。ただ字を拾って読むのでは、本当に読むことにはならないのである。言葉の意味をまとめて全体を理解するには、読者の側のそういう積極的な働きがあるから、同じ本を読んでも、それぞれに違った心の絵になるのである。

文章を書くことが想像であると同じように、物を読むのもまた、想像でなくてはならない。

(外山 滋比古の文による)

問1 全体は五つの段落から成り立っている。これをさらに大きく三つにまとめるとしたら、どうなるか。次の段落群に区切り目のしるしをつけよ。

第一段落 第二段落 第三段落 第四段落 第五段落

問2 結論の部分は几段落か。

【提示】

問1 作者将文章分为“書く場合”和“読む場合”两个方面进行了叙述,特别主张在“読むほうにも”存在“个性”。因此,可将全文简缩为“書く場合”和“読む場合”两个方面来考虑。

問2 可将全文简缩,并找出作者主要想表达的内容,它就是全文的主题。

二、指示词

日语指示词是在对话或文章里对某个或某些事物(具体的或抽象的)进行指示的用语,所以又俗称指示代词。指示词运用的正确与否将直接影响会话或文章的文脉,指示词用错了就会对文句的意思或内容带来误会或曲解。因此,正解把握文章中指示词所指代的具体内容十分重要。读解试题中也常常会有诸如“何行目の〈これ〉とは、なにを指しますか。”、“〈その人〉とは、どんな人ですか。”等问题,出题频度非常高,误解率也

比较高。下面就日语指示词的词类及用法作一简单介绍和练习。

1 指示词的词类

こ系指示词	そ系指示词	あ系指示词	ど系指示词	词类
これ	それ	あれ	どれ	代名词
ここ	そこ	あそこ	どこ	代名词
この	その	あの	どの	连体词
こんな～	そんな～	あんな～	どんな～	形容动词
こう	そう	ああ	どう	副词

从上表可以看出日语指示词在形态上可以分为四个系列,它们的词头,亦即音头均为“コ・ソ・ア・ド”,故而又称之为“コ・ソ・ア”系词汇。

2 指示词的用法

指示词所指示的内容一般分布在前后两个位置,其中,位于前面的情况较普遍。

指示先行表达过的内容,如:

“野原を歩いていると、白いかれんな花を見つけた。私は、それを摘んで帰った。”

显然,句中的“それ”指前面出现的“白いかれんな花”,若认为是“野原”那就错了。

又如:

“志賀直哉の初期の作品は明かに作者が岩くたければ書けないものです。それは、現在の志賀直哉がどんなに人間として立派に成熟しても、二度と繰返せぬ若さの記念なのです”(志賀直哉の早期作品,显然是作者不年轻就写不出来的东西。那是不管现在的志賀直哉作为一个人有多么完善的成熟,也不能再度重复的青春纪念。)

这句话中的指示词“それは”是指“志賀直哉の初期の作品”。

下面让我们通过具体文章来分析一下指示词的用法。

【例文三】

友情について

大人になってからは親友ができにくく、若いときにこそ真の友情を見つけることができるのは、自己の真実を裸のままで示す素直な気持ちを若い人々は持っているのに、大人になるといろいろなからができてしまって、自己を開き示すことが少なくなるからでしょう。友情の成立に必要なのは、必ずしも若さということではなくて、人生に対する真実な気持ちを開き示し、また他人の①そのような気持ちを受け入れる心

の素直さです。言い換えれば、人生に対する真実な気持ち、自分自身に対する誠実さ、②これなくしては友情は得られず、逆にまた、③これさえあれば若くなくても若くなくても真の友情をうることができるに違いありません。友情における相互の信頼というものは、人生に立ち向かう④この真実さを相互に認め合うことですから、性格や意見などのように違っても、⑤そういった相違を超えて成立するものですし、⑥これは相互の生き方の最も深いところでの信頼ですから、生涯変わることなく続くのです。

(矢内原 伊作)

分析

文章中划线部分指示词的具体内容是：

- ①そのような＝人生に対する真実な。(从紧靠前面的“人生に対する真実な気持ちを開き示し”考虑)
- ②和③的これ＝人生に対する真実な気持ち、自分自身に対する誠実さ。(在“人生に対する真実な気持ち”和“自分自身に対する誠実さ”之间添加“つまり”或“すなわち”便可知道)
- ④この＝気持ちの。(虽然词序有所改变,但仍可从其前面的“人生に対する真実な気持ち”考虑)
- ⑤そういった＝性格や意見、或いは外的な環境や身分の。(均是在前面出现的内容)
- ⑥これ＝友情における相互の信頼(というもの),或「真の友情」。(可理解为本句开头的主语)

指示后续表达的内容,如:

“例えば、こんな話がある。ある日本の技術指導者がインドにはじめて行き、インド人を使って仕事をはじめた”。(比方说有这样一件事:日本某个技术指导人员初次来到印度,雇用了印度人开始工作。)

句中的“こんな”指示后面要叙述的内容:“ある日本の技術指導者がインドにはじめて行き、インド人を使って仕事をはじめた”。请看下面文章。

【例文四】

麦藁帽子

夏休みが来た。

寄宿舎から、その春、入寮したばかりの若い生徒たちは、一群れの熊蜂のように、うなりながら、巣離れていった。めいめいの野薔薇を目指して。…

しかし、私はどうしよう！ 私には私の田舎が無い。私の生まれた家は都会の真中であつたから。おまけに私は一人息子で、弱虫だった。それで、まだ両親の許を離れて、一人で旅行をするなんていう芸当もできない。だが、今度は、今までとは事情が少し違って、一つ上の学校に入ったので、この夏休みには、こんな休暇の宿題があつたのだ。

田舎へ行って一人の少女を見つけてくること。

分析

文章中划线部分指示词“こんな”的具体内容是修饰“宿題”的,即“田舎へ行って一人の少女を見つけてくること”。

三、接 续 词

日语接续词主要由接续词、接续助词和某些副词、形容动词等担当。根据词与词、句子与句子之间的关系,可将接续词的功能分为如下若干种:

1 添加、并列共戻

そして、それに、さらに、なお、及び、また、同時に、或いは

例 雪がとけた。そして小川となった。

2 顺接共戻

だから、したがって、ゆえに、それで、そこで

例 雨が降った。だから遠足は中止された。

3 逆接共戻

しかし、けれども、が、だが、でも、ところが

例 彼女はよく勉強する。しかしスポーツはあまり得意ではない。

4 说明共戻

言おぼ、言い換えると、つまり、すなわち、要するに、なぜなら、というのは、たとえば

例 ○言葉は心のかけ橋だ。言い換えれば、心を伝達する手段である。

○遠足は中止となった。なぜなら、雨が降ったから。

5 话题转换共举

では、さて、ところで、それはさておき

例 ところで、そのように妹の言葉を心の中で確かめることによって、作者の気持ちにどんな変化が起こったろうか。

某些副词、形容词也可以充当接续词，如：

副词：

ただ、むしろ、たぶん、おそらく、なるほど、もちろん

例 ○遊んでもいい。ただ遊びすぎないことだ。

○彼は来なかった。たぶん病気になったのだろう。

形容词连用形：

確かに

例 雨が降ると天気が悪い。確かにそのとおりだ。

如上例所示，起接续作用的副词、形容词大都置于后一句的句首，对前一句的内容附加条件、陈述原因、理由，或表示强烈赞同之意。

6 特别的呼应共举

日语中还有一种特别的呼应关系，就是在后一句句首添加表示逆接关系的接续词，如“しかし”、“けれども”等，常用于表示先赞同后否定之意的句子。其表现形式是：

なるほど	}	……	しかし	}	……
もちろん			けれども		
確かに			が		

例 なるほど君の意見も一理ある。しかし空想的過ぎて実現不可能だ。

正确掌握日语接续词的词法功能和语法功能，对理解词与词、文节与文节、句子与句子、段落与段落之间的关系，正确把握作者的写作思路和文章的中心内容十分重要；也是读解中必不可少的出题项目。下面来分析一下接续词在具体读解文中的应用。

【例文五】

心ゆたかに

人間の世の中は、いったい、どうして変わるのだろうか。もちろん、地震や台風や洪